

利便性を実感できるさんだ里山スマートシティの実現を目指して

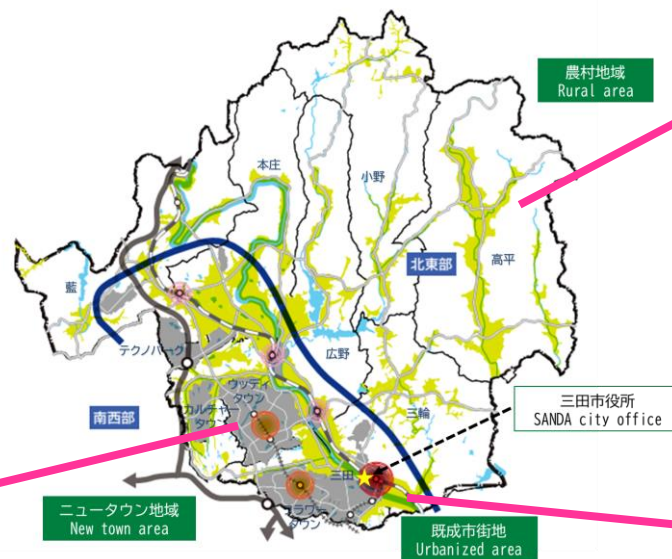
2023年10月10日

さんだ里山スマートシティセミナー2023 Autumn
三田市（スマートシティ推進課）





神戸三宮から約40分～
大阪梅田から約40分～

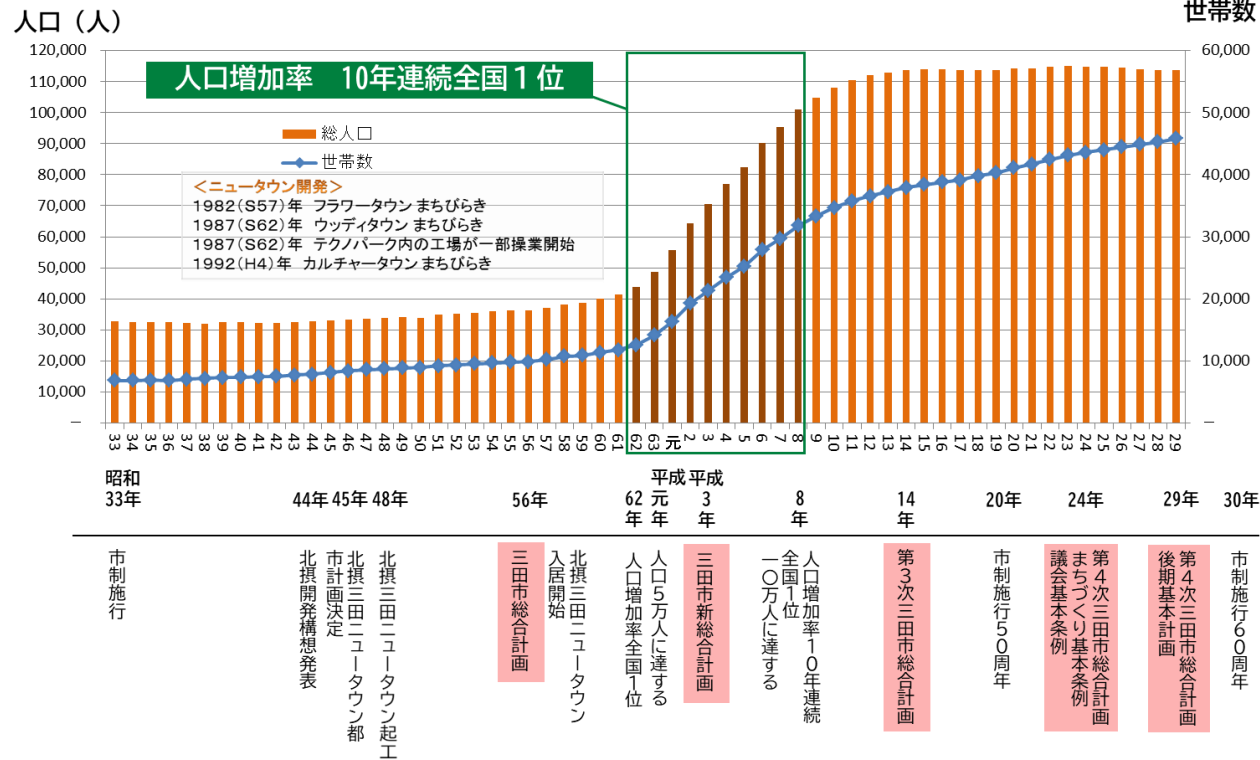


3つの特徴ある地域・エリア

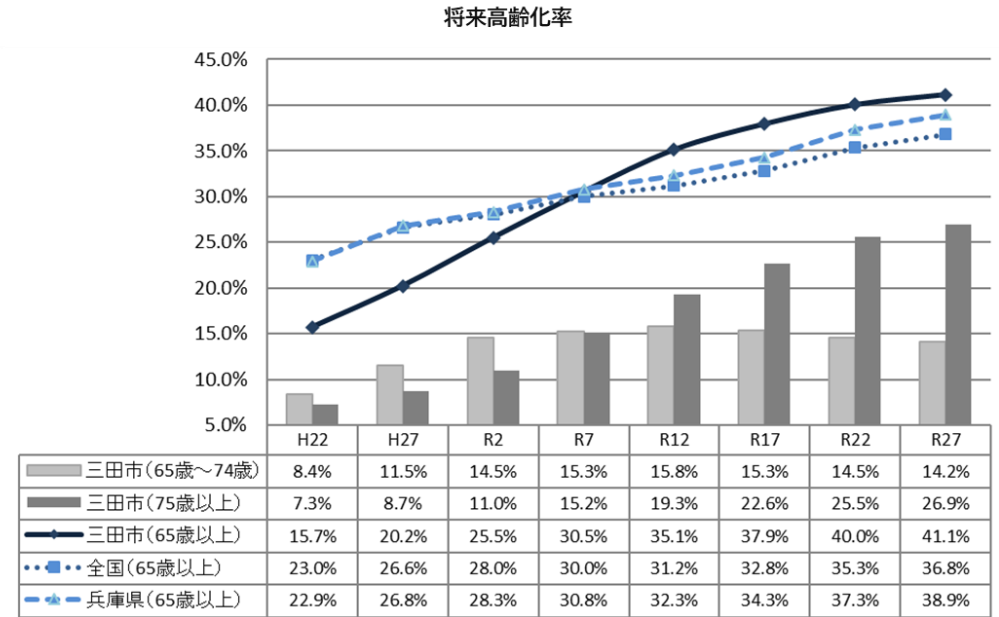
東西南北へアクセスしやすい

“人や物が行き来する場所”

- 大規模なニュータウンの宅地開発で人口約3万人から約11万人に増加
- 近年は人口減少が減少している** ※2023年8月末現在、人口107,494人（対前月末比▲83人）
- 今後、**急速に高齢化が進む**



引用元：さんだ里山スマートシティ構想より



<資料> 全国・兵庫県：国勢調査（～R2）及び社会保障・人口問題研究所推計（R7～）
 三田市：住民基本台帳（～R2）・人口推計（R7～）

引用元：さんだ里山スマートシティ構想より

スマートシティの始まり

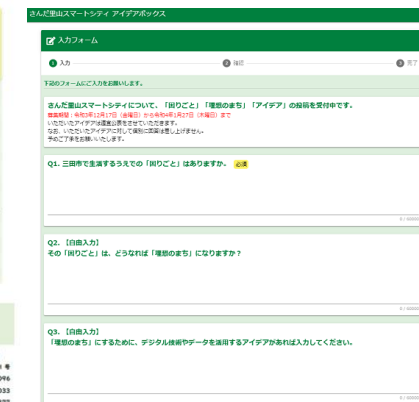
- 2020年10月 **スマートシティに取り組む旨を公表（市長定例記者会見）**
 - コロナ禍及びポストコロナ時代を見据え、**本市へ新しいひとの流れを作り出す。**
 - デジタル活用による産業・就労機会の創出、暮らしやすい環境の整備 ➡ **人・企業を惹きつけるような魅力的なまち・三田**
- 2021年3月 **基本的な方向性を公表（官民共創や市民参加など）**
 - 「様々な課題」×「三田の特徴」×「デジタル」➡「スマートシティ」

スマートシティ構想の策定へ

- 2021年3月 **官民共創プラットフォームの設置**
 - 市内外の企業や団体等の参加
- 2021年10月 **アンケート調査**
 - 18歳以上の市民3,000人を対象（回答率53.0%）
- 2021年11月 **ワークショップ開催**
 - 15歳以上の市内在住・在勤・在学者（現地：42名）
 - YouTubeでライブ配信**（オンライン：12名）
 - スマートシティアドバイザーやプラットフォーム会員の計4名が登壇
- 令和3年4月～令和4年1月 **インターネットを活用したアイデア募集**
 - オンラインフォームでアイデア募集**（のべ21人のアイデア）



ワークショップの様子



インターネットを活用したアイデア募集

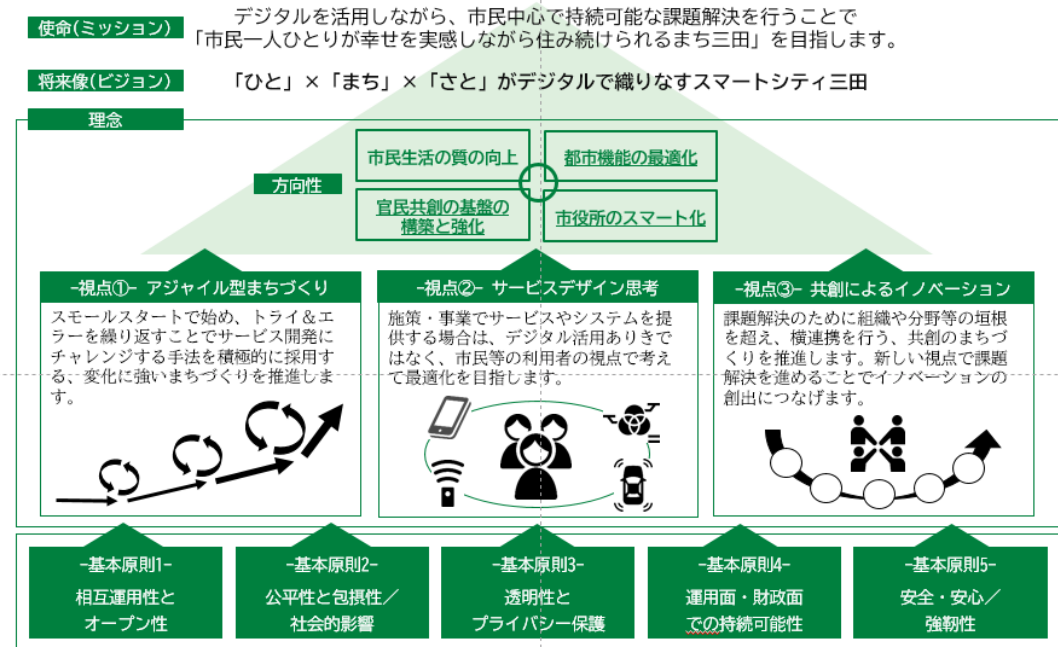
- デジタルを活用しながら「**市民一人ひとりが幸せを実感しながら住み続けられるまち三田**」を目指す

- 総合計画に基づく個別計画や各施策の取組み等に対して、**スマートシティ・デジタルの要素**を取り入れ、分野を超えた横断的な取組み（= **庁内横断的な取組み、横の連携**）を推進する**指針・考え方**として位置付け

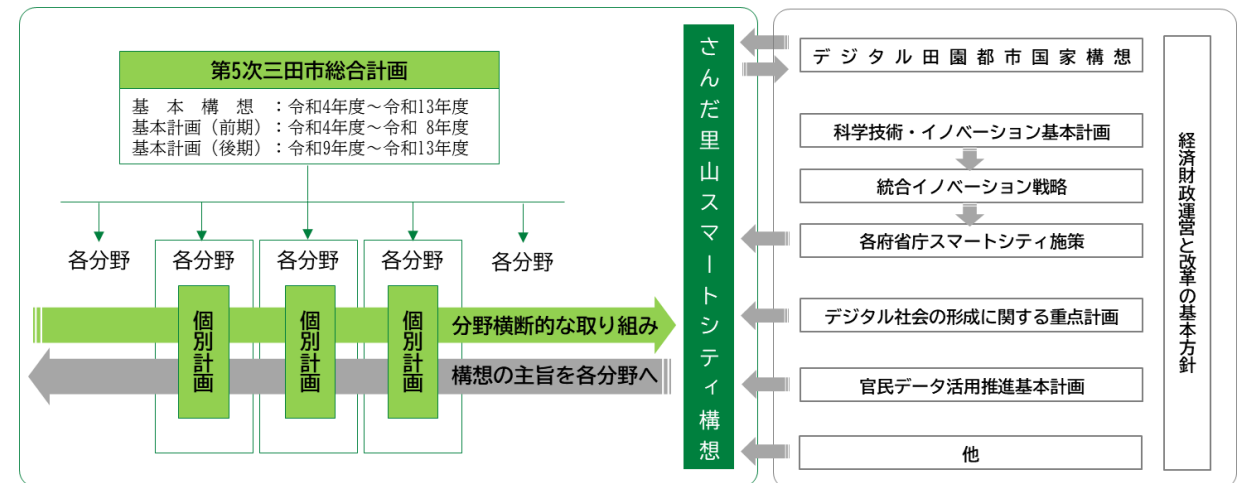
さんだ里山スマートシティの将来像

13

Sanda Satoyama Smartcity



さんだ里山スマートシティ構想の概要



構想の位置づけイメージ図

さんだ里山スマートシティ構想資料等はこちら

https://www.city.sanda.lg.jp/shisei_joho/1/19986.html

Access →



- ・ 企業や団体と連携しながらスマホ操作を学ぶことのできる企画を実施
- ・ 主な連携先（ア・ティー・エックス、NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク、兵庫県、コネクト、宝塚NPOセンター）

初心者

初心者・中級者

上級者

第4回 シニアのためのいきがい応援セミナー

参加費
無料

『初めて触る スマートフォン 体験講座』 ～Androidコース～



電話や音声検索、写真の撮り方・アルバムを見る、目的地までの経路検索など基本的な操作を行います。初めて触る・使う方向けの基礎講座です。

※スマートフォンは1人1台貸し出し(持込み不可)

日時 令和4年11月7日(月)
13:00～15:00(受付/12:30～)

場所 まちづくり協働センター
多目的ホール3

対象 市内在住の55歳以上の方

定員 20人
(応募者多数の場合は抽選になります)

申込 10月17日必着、ハガキに住所・名前・電
年齢を記入し下記まで、お申込みください。

※受講者の同意が得られた場合に限り、個人情報をお送り後日、ア
などのご連絡をすることがあります。

いきがい応援プラザ～HOT
〒669-1528 三田市駅前町2-1 キッピーモール6階
まちづくり協働セン
☎079-559-6800(平日10時～17時) FAX 079-56



はじめて触るスマホ教室（2021年～）

スマホの困りごとを 学生に相談しませんか？

世代をつなぐスマホ活用サポート相談会

参加無料

スマートフォンの操作に関する疑問・不安の解消のため、楽しく丁寧に学ぶ相談会を実施します！
市内各府・有学の大学などが主催の学生スタッフマン形式でスマホが学べます。

相談内容	開催場所	開催日	申込枠 申込者	申込期限
1人45分 ・スマホの基本的な使い方 ・指の操作テクニック ・インターネット検索の活用 ・アプリの取得 ・LINEの活用 等	道の資料館	2月18日(土)	① ②	2月4日(土)
	協働センター	2月24日(金)	① ②	2月10日(金)
	高平ふもと交流センター	2月28日(火)	① ②	2月14日(火)
	広野図書館	3月3日(金)	① ②	2月19日(金)
	ラッパタウン市民センター	3月4日(土)	① ②	2月18日(土)
	アタラシキ市民センター	3月5日(日)	① ②	2月19日(日)
	アタラシキ市民センター	3月7日(火)	① ②	2月21日(火)
	若狭富士市民センター	3月7日(火)	① ②	2月21日(火)
	ラッパタウン市民センター	3月9日(木)	① ②	2月23日(木)
	山崎公民館	3月9日(木)	① ②	2月23日(木)
	道の資料館	3月14日(火)	① ②	2月28日(火)

【受付】 10時～11時(11時～12時) 14時～15時(15時～16時) 18時～19時
※申込締め切りは14時30分～15時30分(15時30分～16時30分) (開催時間前日まで)

【申込】 スマートフォンを持っていない場合は市の方
【注意】 各回15名(多数の場合は抽選)
【申込】 電話or申込書(住所・名前・電話番号・参加希望申込日必須)
※申込1人1紙、開催日1週間前を目処に申込日、参加時間希望まで送付(開催日の場合は可)

**お申込み
お問合せ** ☎06-6585-0180
【受付】 水、日を除く9:00～18:00
株式会社コネクト なんでもスマホ教室 三田市スマートシティ 協働センター事務局 申込サイト



世代をつなぐスマホ活用サポート相談会（2022年）

スマホの使い方 サポーター 養成講座

2023年
3回連続 2月2日(木) 9日(木) 22日(水)
13時30分～15時30分 参加無料

この講座で目指すスマホサポーターとは
趣味の仲間や自治会活動の中で、ちょっと分からない人にスマホを教えられる。
分からない人が気軽に聞くことができる人。

場 所: キッピーモール6階 まちづくり協働センター
定 員: 20人(多数の場合抽選)
対 象: ①スマホでインターネット検索ができる
②高齢者に教える熱意がある
③全3回に参加できる
④55歳以上の市民

【申し込み】
1月15日(日)までに右上の二次元コードからお申込みください

スマホの使い方を聞かれたら、こんな風に答えたら良いのね

なるほど！
専門用語もこうやって伝えたらいいの！

【問い合わせ】
主催: 三田市いきいき高齢者支援課(TEL 559-1587 FAX 563-7776)
運営: 認定NPO法人 宝塚NPOセンター

スマホサポーター養成講座（2022年～）

- 子どもの保護者の利便性向上と保育士や保育教諭等の職員の負担軽減のために**ICTを積極的に導入**
- スマートフォンやタブレット端末を使うことで子どもの登降園管理や出欠連絡などをデジタル化

放課後児童クラブ

2022年度～

病児保育室
ふらっと
クローバー

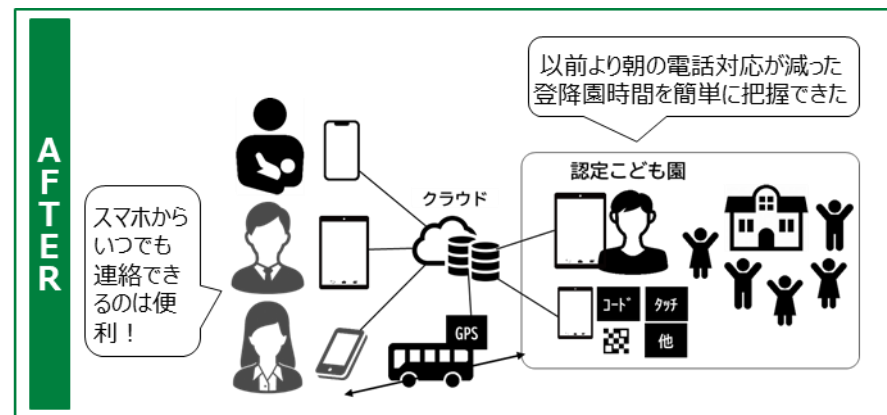
2022年度～

市立三田保育所

2023年度～
【準備中】

(仮称)
市立認定こども園
みつば幼稚園

2023年度～
【準備中】



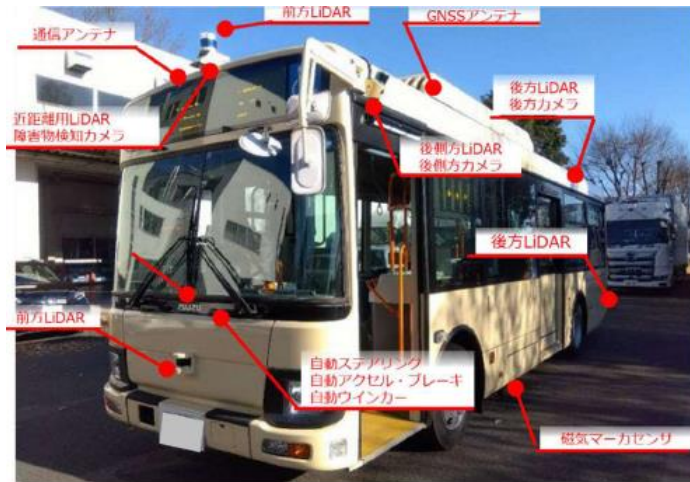
市立幼稚園の統廃合

通園バスの運用開始

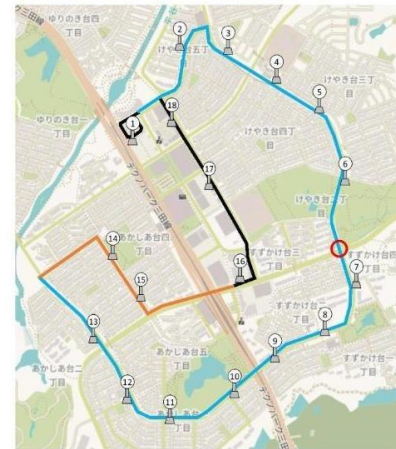
位置情報を可視化

市立認定こども園みつば幼稚園のデジタル化のイメージ

- 高齢化の進展による移動ニーズの多様化と運転手の担い手不足などへの対応
- 主な連携先（神姫バス、先進モビリティ、住友電気工業、住友電工システムソリューション、日本ペイント・インダストリアルコーティングス、NTTコミュニケーションズ、NTTドコモ、日本工営など）
- 2020年からスタート（2023年度で3回目）
- 2023年度は新たな技術検証のほか、初めて**乗車料金**を設定
- 親子向けの体験会やパネル展示を企画 ➡ **社会的な受容**へ段階を追って実施



2022年度中型自動運転バス実証実験の車体



R5年度は「すすかけ台3丁目」は通過

順番	バス停
1	ウッディタウン中央駅
2	けやき台5丁目北
3	けやき台5丁目
4	けやき台小学校前
5	けやき台3丁目
6	中央公園北口
7	すすかけ台小学校前
8	北橋中央幼稚園前
9	すすかけ台ハイソ前
10	あかしあ台1丁目
11	はじかみ公園前
12	コミュニティホール前
13	あかしあ台小学校前
14	あかしあ台公園前
15	あかしあ台4丁目
16	えるむプラザ前
17	けやき台1丁目
18	けやき台5丁目南

2023年度実証実験の走行ルート

親子で自動運転バス体験会

鉄道やバスなどの地域公共交通は、ひとりひとりが公共交通サービスを使っていくことが何より重要です。自動運転バスをきっかけに、地域公共交通や未来のバスについて一緒に学んでみませんか？

2023.10.21(土)
ウッディタウン市民センター視聴覚室

日 時：令和5年10月21日(土)
①14:00～15:30(受付開始13:40)
②16:00～17:30(受付開始15:40)

会 場：ウッディタウン市民センター 視聴覚室

対 象：三田市内在住の親子(対象児童：小学校5年生・6年生)

定 員：40名(10組20名)

参加費：無料

プログラム：
「自動運転で私たちのくらしはどう変わるの？」(井原先生の講座30分)
<市民センターからウッディタウン中央駅へ移動>
自動運転バス試乗(約40分)

申込方法：希望する時間(①または②)、住所、参加者の氏名(フリガナ)、学年、電話番号、E-mail を記載して、申込フォーム、E-mail、窓口のいずれかで申込みください。

申込締切：10月12日(木)必着

申込フォームは <https://logoform.jp/f/X15M0>

※申込多数の場合は、抽選となります。当選者の発表は10月13日以降の参加案内をもって代えさせていただきます。

【主催・お問合せ先】三田市まちの再生部都市政策室交通まちづくり課交通企画係
電話 079-555-6777(直通) E-mail kotsu@city.sanda.lg.jp

親子で自動運転バス体験会のチラシ

2023年10月17日から11月26日まで実証

Access ➡



- 自動車保険契約者の自動車走行データから振動や加速度、位置情報などのデータを収集
- データの統計加工を施した上で「路面異常の推定箇所」を地図上に可視化 → 三田市道路パトロールが現地調査・効果検証
- 連携先（あいおいニッセイ同和損害保険）
- **企業は新しいサービス開発を検証、三田市は業務の効率化につながるか検証**



自動車走行データを活用した路面状況把握のイメージ図



タグの自動車への搭載イメージ



データに基づく現地確認の様子

最近新聞にも大きく
取り上げられました

Access →



- 神戸大学大学院システム情報学研究科と連携（= **PBL授業**で大学院生が**三田の課題解決のためにアプリ開発**）
- 授業終了後も継続して開発 → **市民等に提供**（大学の研究費等を活用）
 - 2021年度：Webアプリ版「**さんだ親子防災ノート**」
 - 2021年度：SANTA CITY まちあるきゲーム「**モイ！SANTA QUEST**」 → 2022年度：**さんだまち歩きアプリ**（GPS×クイズでポイント）
 - 2022年度：三田わくわくアプリ「**こうみんすごろく**」 → 2023年度のワークショップで活用予定
ゼロカーボンチャレンジアプリ → 2023年7月～9月で市民等を対象に公開
- 貯まったポイントに応じて景品の申し込みが可能なアプリもあり、市内の企業等からの協賛品などを募った。
- 主な参画企業など
 - 神戸大学大学院システム情報学研究科、コスモス食品、神姫バス、三菱マテリアル、ネットヨタ神戸ネットテラス新三田など



Webアプリ版「さんだ親子防災ノート」



SANTA CITY まちあるきゲーム「モイ！SANTA QUEST」

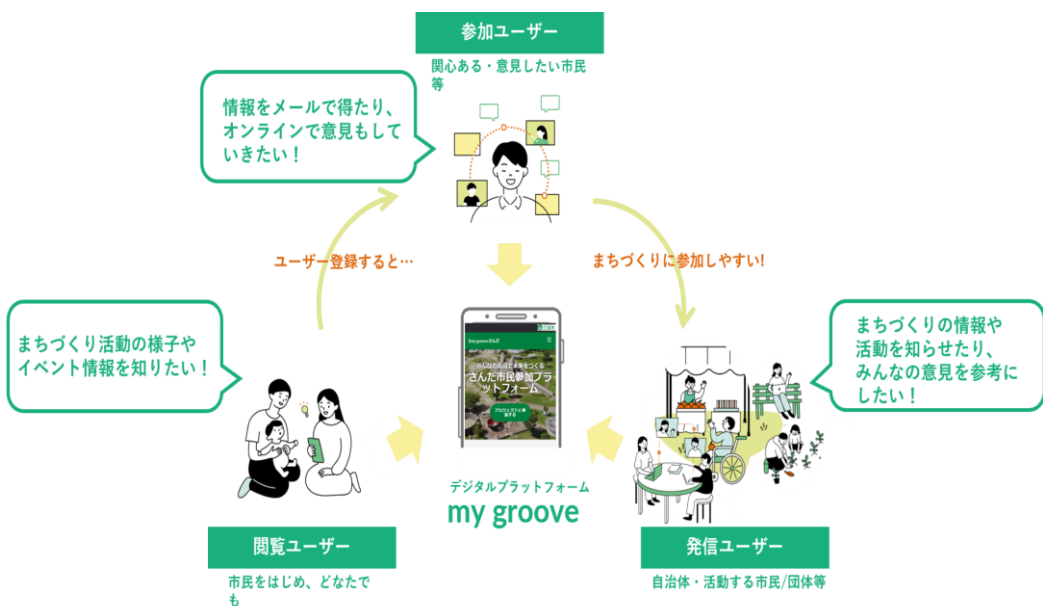


さんだまち歩きアプリ 三田わくわくアプリ「こうみんすごろく」



ゼロカーボンチャレンジアプリ

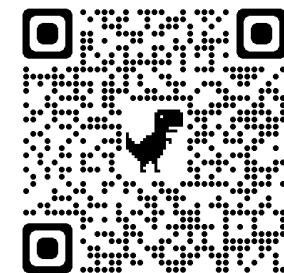
- 2022年度に市民参加プラットフォーム「my groove さんだ」を開設（実証実験）
- 市民等が、オンライン上で**時間や場所の制限を受けず**「できる時に、できる方法で」様々な取り組みに参加することや、活動している人をオンライン上で応援することのできる仕組みを実証（現在、実施中のプロジェクトなし）
- 連携先（Groove Designs）



市民参加プラットフォームの活用イメージ



市民参加プラットフォームのサイト画面



Access

過去のプロジェクトとして公開中
現在進行中のプロジェクトはなし

- 地域で行われているイベントや催し、地域の魅力・情報などを知ることができる地域情報共有アプリ「ためまっぷさんだ」
- 2022年10月より運用開始（市役所のみ投稿）
- 2023年度から「みんなで利用できるプラットフォーム」にするため投稿できる組織や団体を順次拡大中
- **活用アイデア募集中**
- 連携先（ためま）



●市内のイベントや催しを電子掲示板で探そう！

●地域の魅力・情報を地図で調べよう！



✓ 掲示板で探す

電子掲示板で時系列に情報を見れる

✓ 地図で探す

地図上で近くの情報を見れる（スマホの位置情報を利用）

✓ 魅力・情報

子育てマップで子育てに役立つ情報を見れる（他にも順次マップ拡大予定）

- 公共データの公開によりデータの流通や活用を推進
- 誰もがデータを収集しやすくするためオープンデータカタログサイトを構築（267自治体が利用するBODIK ODCSを活用）
- さらなるデータの公開や、活用しやすいフォーマットでのデータ公開が課題

オープンデータカタログサイト
<https://odcs.bodik.jp/282197/>

Access →



- 「デジタル時代に相応しい市役所になる」を掲げて、デジタル技術を使いながら、市役所のスマート化に取り組み中
- キーワードは「窓口サービス向上」「業務効率向上」「マイナンバーカード」

これまでの取り組み

音声認識AI

議事録作成
コミュニケーション

キャッシュレス

税金・窓口

オンライン手続き

WEB予約
証明書請求

情報発信

LINE公式アカウント
Instagram
母子手帳アプリ

業務デジタル化

文書管理・電子決裁
ビッグデータ活用

業務・地域 デジタル化

議会ペーパーレス

現在の取り組み

業務デジタル化

ChatGPT
ガバメントクラウド
システム標準化

業務・地域 デジタル化

介護審査会ペーパーレス
電子契約

デジタル時代の図書館へ（2024年1月予定）

- 人口減少とコロナ禍で来館者・利用者が減少
- 「知と憩いの拠点」として発展させるために来館者・利用者の増加を目指す ➡ **マイナンバーカード**をキッカケに利用者増へ



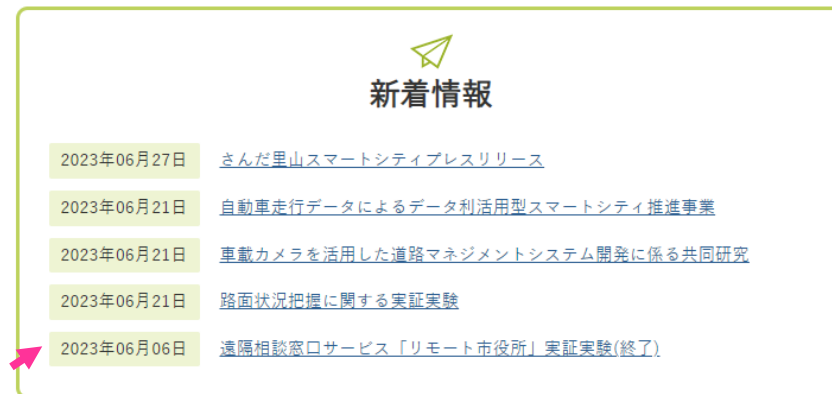
三田市立図書館



- 三田市の取り組みを「さんだ里山スマートシティポータルサイト」で市内外に情報発信
- 今後も掲載コンテンツを順次拡大



The screenshot shows the main page of the Sanda Satoyama Smartcity portal. At the top is the logo and the title "さんだ里山スマートシティ Sanda Satoyama Smartcity". Below this are six navigation buttons: "さんだ里山スマートシティ構想", "官民共創プラットフォーム", "市民参加型スマートシティ", "さんだ里山スマートシティの取り組み", "さんだ里山スマートシティロゴマーク", and "スマートシティアドバイザー・連携協定". A central section titled "さんだ里山スマートシティポータルサイトへようこそ" contains introductory text. To the right, there are icons for "ためまっぷさんだ" and "my groove さんだ". At the bottom, a "新着情報" (New Information) button is highlighted with a dashed red box.



新着情報

- 2023年06月27日 [さんだ里山スマートシティプレスリリース](#)
- 2023年06月21日 [自動車走行データによるデータ利活用型スマートシティ推進事業](#)
- 2023年06月21日 [車載カメラを活用した道路マネジメントシステム開発に係る共同研究](#)
- 2023年06月21日 [路面状況把握に関する実証実験](#)
- 2023年06月06日 [遠隔相談窓口サービス「リモート市役所」実証実験\(終了\)](#)

～新着情報で直近の更新をお知らせ～

Access →



https://www.city.sanda.lg.jp/shisei_joho/1/index.html

～さんだ里山スマートシティポータルサイト～

- ・ スマートシティとは「**市民一人ひとりが幸せを実感しながら住み続けられるまち三田**」を目指すまちづくり
- ・ 人を幸せにするために、デジタルを「どのように使いたいか」「**使わないでほしいか**」を考える・議論する

市民

自分たちの住みたいまち
をつくらうとする
市民のボトムアップな活動

企業等

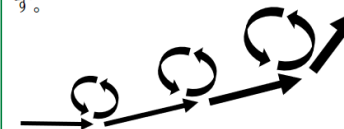
持続可能な経済成長
を目指す民間企業等

行政

コストを削減しつつ
公共サービスの質を確保する
政策を実行しようとする
行政のトップダウン

-視点①- アジャイル型まちづくり

スモールスタートで始め、トライ＆エラーを繰り返すことでサービス開発にチャレンジする手法を積極的に採用する、変化に強いまちづくりを推進します。



-視点②- サービスデザイン思考

施策・事業でサービスやシステムを提供する場合は、デジタル活用ありきではなく、市民等の利用者の視点で考えて最適化を目指します。



-視点③- 共創によるイノベーション

課題解決のために組織や分野等の垣根を超え、横連携を行う、共創のまちづくりを推進します。新しい視点で課題解決を進めることでイノベーションの創出につなげます。



引用元：さんだ里山スマートシティ構想

参考：安岡 美佳,ユリアン 森江 原 ニールセン「北欧のスマートシティ テクノロジーを活用したウェルビーイングな都市づくり」, 株式会社学芸出版社,2022年12月,17ページ



共に創ろう
三田のスマートシティ

